

第 1 回 沖 縄 県 教 育 委 員 会 会 議 (臨 時 会)

1 日時 平成24年1月4日 11時32分～11時46分

2 場所 教育庁第一会議室

3 出席者

委員	中野 委員 (委員長) 安次嶺 委員 新垣 委員 安里 委員 宮城 委員 大城 委員 (教育長)	(欠席委員)
----	--	--------

教育 庁	統括監等	教育管理統括監、教育指導統括監、参事
	課長及び 班長等	総務課長、財務課長、施設課技術調整監、福利課長、 県立学校教育課長、義務教育課長、保健体育課長、 生涯学習振興課長、文化財課長
	職務のため 出席した者	(事務局) 総務課総務班班長、同班主査

4 傍聴した者

記者2人 / その他0人

平成24年第1回県教育委員会会議（臨時会）

（開会11:32）

委員長	<p>あけましておめでとうございます。昨年は本県教育委員会はいろいろと厳しい状況がありました。そのことをばねにして、新年は新しい気持ちで心をひとつにして子供たちの夢と希望を叶えるよう一致団結して一緒に頑張りたいと思いますのでよろしくお願いします。</p> <p>はじめに、1月1日付けで宮城奈々さんが教育委員として就任されております。宮城委員に自己紹介をお願いします。</p>
宮城委員	<p>私は美術工芸の分野から教育について考えていけたらと思っています。工芸というのは、地域の生活や自然環境と密接に関わっていますので、子供たちが身近に工芸と触れ合う機会・体験を学校教育にもっと積極的に取り入れられたらと思っています。これから勉強していきながら、教育委員として頑張っていきたいと思っていますのでよろしくお願いします。</p>
委員長	<p>続いて各課の課長の自己紹介をお願いします。</p> <p>（各課長の自己紹介）</p> <p>それでは、ただいまから平成24年第1回県教育委員会会議（臨時会）を開催します。会期の決定を行います。本日一日を予定しておりますが、よろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>異議なし。</p>
委員長	<p>では、このとおり決定します。</p> <p>今回会議録署名人は新垣委員をお願いします。</p>
新垣委員	<p>はい。</p>
委員長	<p>次に、委員長の任期が本日で終了しますので、次期委員長の選挙を行います。沖縄県教育委員会会議規則第2条第1項により、委員長の選挙は無記名単記投票によるとされていますが、同条第2項により、委員中に異議がないときには指名推薦の方法によることができるとされています。無記名単記投票または指名推薦のどちらの方法がよろしいでしょうか。</p>
安里委員	<p>指名推薦の方がよいと思います。</p>
委員長	<p>ただいま安里委員から指名推薦の方法により行いたいとの意見がありましたが、それでよろしいでしょうか。</p>
各委員	<p>異議なし。</p>
委員長	<p>では、指名推薦の方法で委員長選挙を行います。推薦がございましたらお願いします。</p>
安里委員	<p>1年間、中野委員長の職務代理者として頑張っていた安次嶺委員を</p>

	推薦させていただきたいと思います。
委員長	他にございませんか。
各委員	異議なし。
委員長	安次嶺委員が次期委員長に決定しました。安次嶺委員、明日から委員長の職務をよろしくお願ひします。 次に、次期委員長職務代理者の選挙を行います。沖縄県教育委員会会議規則第3条により、委員長選挙の規定を準用することとされています。無記名単記投票または指名推薦のどちらの方法がよろしいでしょうか。
新垣委員	次期委員長による指名推薦によることとしてはいかがでしょうか。
委員長	その方法でよろしいでしょうか。
各委員	異議なし。
委員長	では、安次嶺次期委員長、次期委員長職務代理者の指名をお願いします。
安次嶺委員	中野委員長には一年間御苦勞いただきましたが、そのついでに私を支えていただきたいと思います。中野委員長に次期委員長職務代理者をお願いします。
委員長	推薦がありますので、微力ながら引き受けたいと思います。 それでは、委員長の交代に際して、私から一言ごあいさつを申し上げます。私は委員長就任時にいろいろと抱負を述べました。それが成就されたか、昨夜と今朝、確認しました。大きな課題もありましたが、教育長を先頭に各課長の協力を得て、やるべきことは着実に進めてきたと感じています。委員長として常々意識したのは、子ども達の明るい未来、そして夢と希望が実現できるためには何に気をつければよいのかということで、国から出された教育委員会制度の意義を常に意識していました。今一度確認しますと、大きな柱が三点あります。1つ目は政治的中立性の確保、2つ目は継続性・安定性の確保、3つ目は地域住民の意向の反映です。これを意識しながら、しかし意識過剰になって子ども達の夢実現の邪魔にならないよう気をつけて進めてきたつもりです。今年辰年で、いい意味で飛躍していけるのではないかと期待しています。また、沖縄が日本に復帰して40年の節目でもあります。本県の子ども達の夢実現のため心をひとつにして共に頑張りましょう。 それでは、次期委員長の安次嶺委員からごあいさつをお願いします。
安次嶺委員	中野委員長、一年間御苦勞さまでした。委員の方々も大変な働きだったと思います。教育長以下教育庁職員の皆さんも一生懸命やっていたと思います。皆さんと一緒にこれまで3年間仕事をしてきて、大変得難い経験をしました。残った1年の任期に委員長という重責を担うことになり、最大限の努力をしたいと思います。私はこれまでずっと子どもに関わる仕事をしてきて、子どもの視点でものを見るということが大事だと、常々思っていま

す。世の中はすべて大人中心で、子どもの権利はあまり顧みられないということが、政治、経済、文化等すべての面においてあります。教育行政として大事なものは子ども達です。学校に通う児童生徒もそうですが、学校に上がる前の赤ちゃんから保育園児、幼稚園児、さらに学校を卒業した若者達を含めて考えなければいけない。私は小学校に上がる前の子どもや小学校の子ども達に特に強い関心を持っています。私達が「教育」という場合、学校現場での教育をどうするかということに重きが置かれます。それは当然と言えば当然ですが、我々が「このような大人になって日本を支えてほしい。」というイメージに沿って子ども達に接していくべきではないかと思えます。教育現場でのもろもろの問題は、結局はすべて我々大人社会の鏡であり、すべて我々大人の側に原因を求めると思えます。教育問題は、子ども達の問題ではなく、大人の問題なのです。県民みんなで子どもの手本になるよう、教育に携わる我々は訴えていかなければいけないと思えます。視点を子どもにおくことで問題を解決できたらと思えます。よろしくお願ひします。

委員長

ありがとうございました。

次に議事ですが、本日は議案がございません。これで、本日の日程はすべて終了しましたので、閉会します。